



東京ガス株式会社 2006年度第3四半期説明会

2007年1月31日

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場、原油価格の変動ならびに天候の異変等があります。

2006年度第3四半期決算の概要



第3四半期決算総括 (対前期実績)

■対前年同期比 増収増益

<プラス要因>

- ・ 原料費調整制度による売上単価増
- ・ 数理計算上の差異による退職手当の減

<マイナス要因>

- ・ 原油価格高騰による原材料費増
- ・ 安全対策費用の増

■単体第3Q経常利益 対前期の主な要因分析

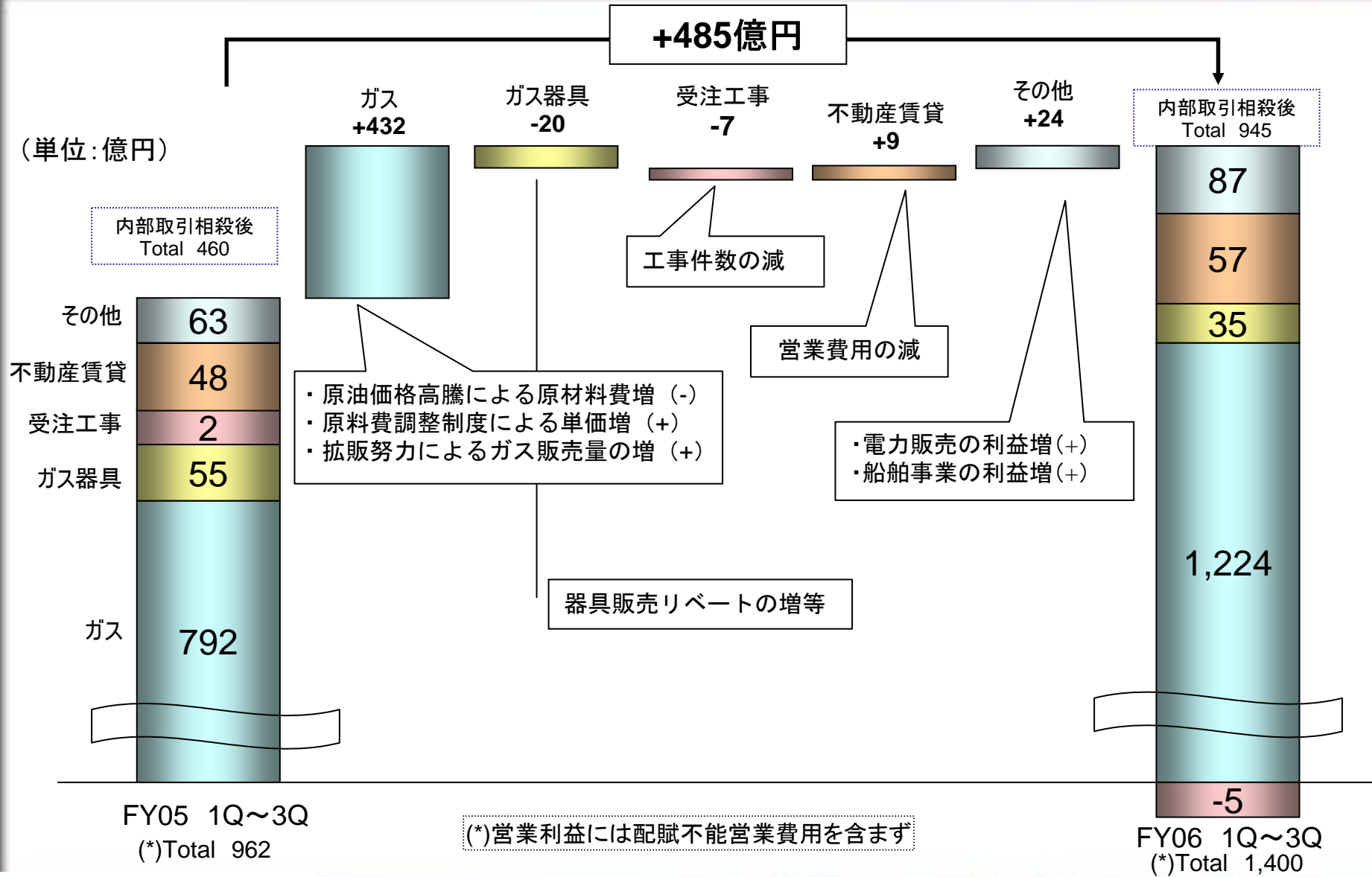
ガス粗利の増	+309億円
諸給与の減	+212億円
諸経費の増	▲71億円
営業雑、附帯事業収支	▲28億円
営業外損益	+7億円

 単体経常利益 319億円→772億円 +453億円

(億円未満切捨て)

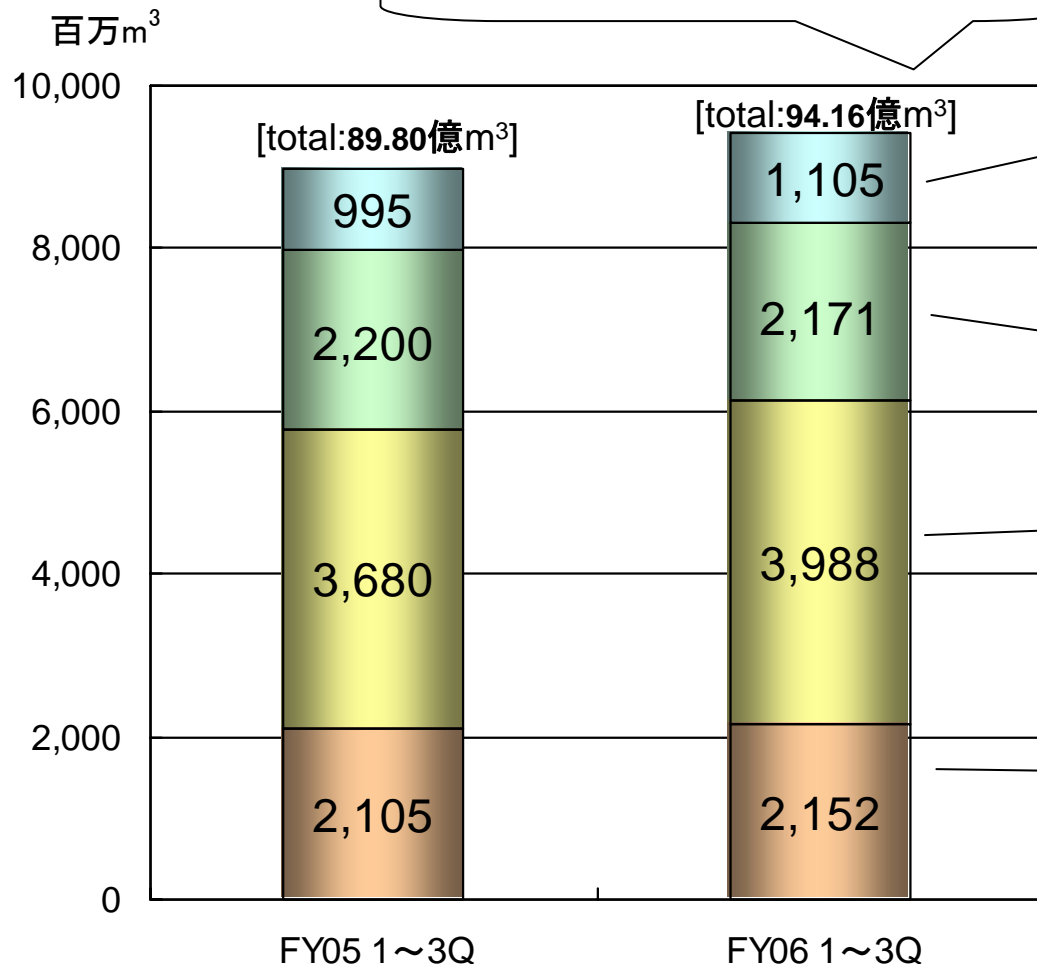
	FY06 1~3Q	FY05 1~3Q	増減
売上高	9,380	8,368	+1,012(+12.1%)
営業利益	945	460	+485(+105.4%)
経常利益	881	402	+479(+119.0%)
第3四半期純利益	595	274	+321(+116.7%)
為替(円/\$)	116.19	112.11	+4.08
原油(\$/bbl)	65.47	54.53	+10.94

営業利益増減要因 (対前期実績)



ガス販売量実績 (連結)

対前年同期比 4.9%増(+ 436百万m³)



<FY05 1~3Q実績→FY06 1~3Q実績 増減要因>

卸供給 + 11.1% (+110百万m³)

・供給先事業者の新規需要の開発および既存お客さまの稼働増等

商業用その他 - 1.3% (-29百万m³)

・夏場の低気温および11、12月の高気温による空調需要の減

工業用 + 8.4% (+307百万m³)

・新規需要の開発および既存お客さまの順調な稼働

家庭用 + 2.2% (+47百万m³)

・お客さま件数の増加
・11、12月の高気温による給湯需要および暖房需要の減

(45MJ、百万m³未満四捨五入)

2006年度通期収支の見通し



2006年度 通期収支見通しについて

■対中間決算発表時(10/30)見通し比 増収増益

<プラス要因>

- ・ 原油価格低下による原材料費の減
- ・ ガス販売量増による売上増

■単体経常利益 対10/30見通し比 要因分析

ガス粗利	+120億円
天候デリバティブ差損減等	+ 10億円

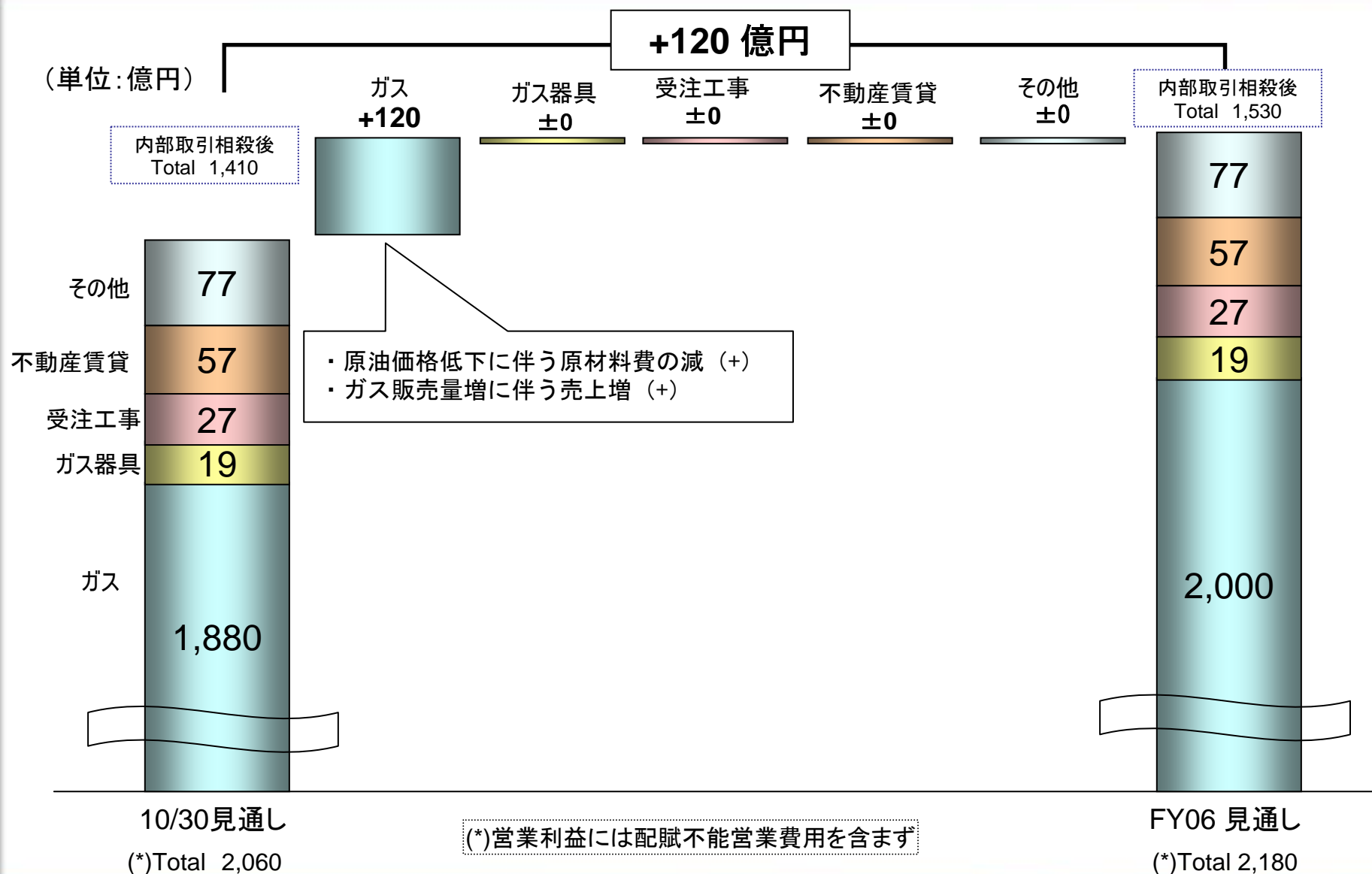
 単体経常利益
 1,170億円→1,300億円 +130 億円

*1月以降を120円/\$、\$59/bblと想定

(億円未満切捨て)

	FY06見通し (1/31時点)	FY05 実績	FY06見通し (10/30時点)	対FY05 実績	対10/30 見通し
売上高	13,950	12,655	13,920	+1,285 (+10.1%)	+30 (+0.2%)
営業利益	1,530	1,123	1,410	+407 (+36.2%)	+120 (+8.5%)
経常利益	1,440	986	1,310	+454 (+45.9%)	+130 (+9.9%)
当期純利益	940	621	860	+319 (+51.3%)	+80 (+9.3%)
為替(円/\$)	117.14	113.32	117.69	+3.82	-0.55
原油(\$/bbl)	63.90	55.81	68.95	+8.09	-5.05
気温(°C)	16.6	16.2	16.5	+0.4	+0.1

営業利益増減要因 (対10/30見通し比)

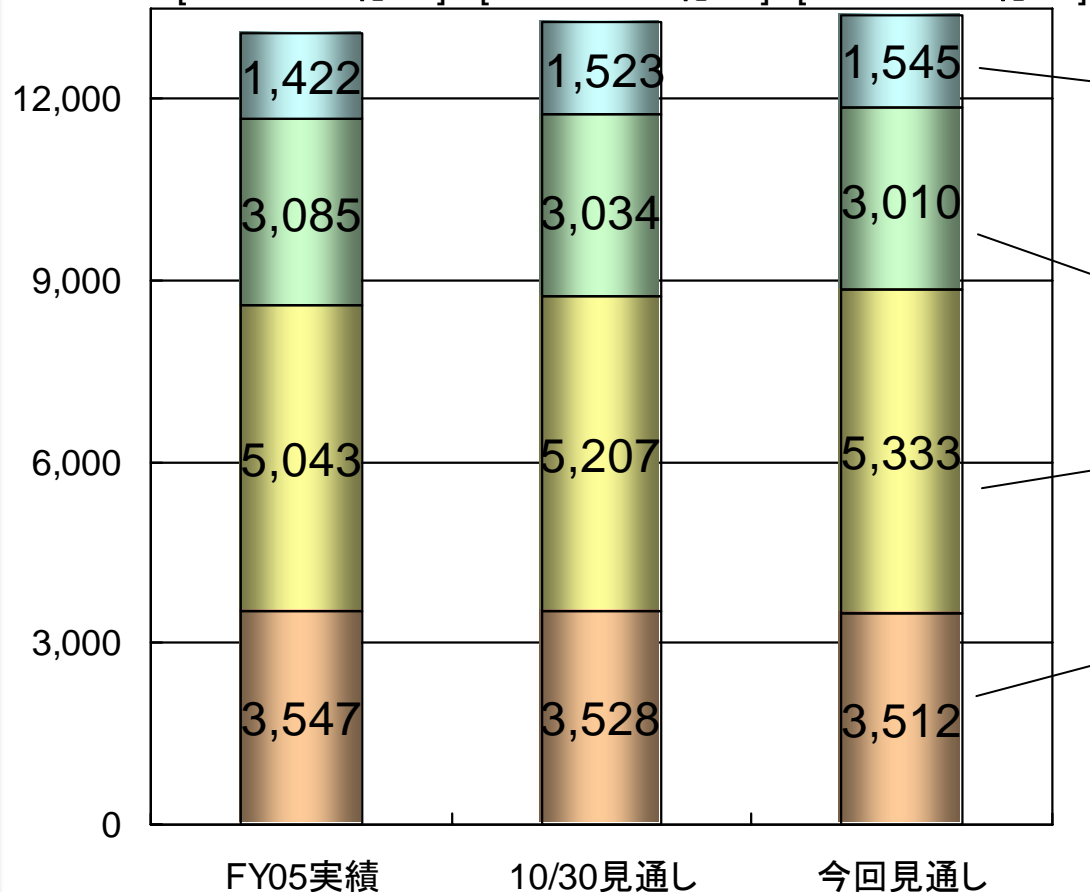


ガス販売量見通し(連結)

10/30見通し比 0.8%増(+108百万m³)

(単位：百万m³)

[total 130.98億m³] [total: 132.91億m³] [total: 133.99億m³]



<10/30見通し → 今回見通し 増減要因>

卸供給 +1.4% (+22百万m³)

- ・供給先事業者の新規需要の開発および既存お客さまの稼働増等

商業用その他 - 0.8% (-24百万m³)

- ・11、12月の高気温による空調需要の減

工業用 + 2.4% (+126百万m³)

- ・新規および既存お客さまの稼働増

家庭用 - 0.5% (-16百万m³)

- ・11、12月の高気温による給湯および暖房需要減

(45MJ、百万m³未満四捨五入)

参考資料



主要計数表 (通期-①)

(単位: 億円)

	FY06 見通し	FY05 実績	10/30 見通し	対前期	対10/30
売上高	13,950	12,655	13,920	+1,285 (+10.1%)	+30 (+0.2%)
営業利益	1,530	1,123	1,410	+407 (+36.2%)	+120 (+8.5%)
経常利益	1,440	986	1,310	+454 (+45.9%)	+130 (+9.9%)
当期純利益	940	621	860	+319 (+51.3%)	+80 (+9.3%)
EPS(円)	35.02	23.48	32.01	+11.69 (+49.8%)	+3.01 (+9.4%)
BPS(円)	289.04	270.46	286.13	+18.58 (+6.9%)	+2.91 (+1.0%)
TEP (東京ガス版EVA)	490	229	409	+261 (+114.0%)	+81 (+19.8%)
ガス販売量(百万m ³)	13,399	13,098	13,291	+301 (+2.3%)	+108 (+0.8%)
為替(円/US\$)	117.14	113.32	117.69	+3.82	-0.55
原油(\$/bbl)	63.90	55.81	68.95	+8.09	-5.05
気温(°C)	16.6	16.2	16.5	+0.4	+0.1

主要計数表(通期-②)

(単位:億円)

	FY06 見通し	FY05 実績	10/30 見通し	対前期	対10/30
総資産(a)	16,920	16,938	16,840	-18 (-0.1%)	+80 (+0.5%)
株主資本(b)	7,790	7,282	7,710	+508(+7.0%)	+80 (+1.0%)
株主資本比率(b)/(a)	46.0%	43.0%	45.8%	+3.0%	+0.2%
有利子負債残高	5,290	5,599	5,290	-309 (-5.5%)	±0
営業キャッシュフロー (c)+(d)	2,300	1,984	2,220	+316 (+15.9%)	+80 (+3.6%)
当期純利益(c)	940	621	860	+319 (+51.3%)	+80 (+9.3%)
減価償却費(d)	1,360	1,363	1,360	-3 (-0.3%)	±0
設備投資	1,380	1,194	1,400	+186 (+15.5%)	-20(-1.4%)
ROA : (c) / (a)	5.6%	3.7%	5.1%	+1.9%	+0.5%
ROE: (c) / (b)	12.5%	9.0%	11.5%	+3.5%	+1.0%

(注) ROA=当期純利益／総資産(期首・期末平均), ROE=当期純利益／株主資本(期首・期末平均)
 EPS, BPSの分母は期中平均株数
 営業キャッシュフロー = 当期純利益 + 減価償却費